

麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

99

令和6年
4月10日発行

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

新年度を迎えて

4月に入り桜の満開とともにようやく春めいた気候となり、当院は新たに12名の新入職員を迎えることができました。

今年の2月には、サンフレッチェ広島の新たなホームスタジアムがオープンしました。平和記念公園の慰霊碑から原爆ドームに続く「平和の軸線」の北側延長線上の地域に建設されたスタジアムは、「恒久平和」への願いと明るい未来に羽ばたく「希望の翼」という意味で「ピースウィング広島」と名付けられました。世界では、長引くロシアのウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナ問題など、武力による衝突が続いています。新たなスタジアムが、広島から世界にサッカーを通じて平和を発信する場となることを祈っています。

さて、今年は診療報酬が改定されます。今回は2年に1度改定される診療報酬と、3年に1度改定される介護報酬及び障害福祉サービス等報酬が重なる、6年に1度の巡り合わせであるトリプル改訂となりました。これら報酬の制度間での調整が行われるため大規模な改訂となり、通常は4月からの施行が6月1日からとなりました。診療報酬については、4月から施行された医師の働き方改革を踏まえた「増加する高齢者救急患者さんへの病院間連携による対応」や、「医療人材の確保」、「医療DXの推進」などがポイントとなりました。

広島市でも、高齢患者さんの増加が一因となり救急車出動件数が上昇し、搬送先がなかなか決まらない受け入れ困難事例も増加しています。さらに、4月から一次（軽症）、二次（中等症）救急医療を担う病院群輪番制病院の減少や、医師の働き方改革の影響で、夜間や休日の救急受け入れ態勢が心配されています。軽症の内科疾患や「けが」の患者さんは、「広島市医師会千田町夜間急病センター」で2時半まで診療を行っていますが、頭部外傷には対応していません。

当院は、「脳神経外科を中心として幅広い診療体制で地域医療に貢献する」ことを理念として掲げています。脳卒中や脳神経外科疾患など、超急性期や急性期疾患に対応する一方で、地域に根差した幅広い診療も行う方針としています。今後も、脳疾患を中心に一次、二次救急受け入れ態勢を一層充実させ、「ことわらない病院」を目指していきます。また、このたびの診療報酬改定を踏まえて病院間連携を推進し、充実したりハビリやケアを行い地域のニーズに応えていく「面倒見がいい病院」も目指していきます。

地域の皆さまには、医療や介護を通じて「あんしん」や「感動」を提供できるよう、職員が一丸となって尽力して参りますので、今年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

令和6年4月1日
医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
院長 荒木 勇人

もくじ

- 1 新年度を迎えて
- 2 光臨会関連事業部のご紹介
- 3 新任医師のご紹介 / 一摂食支援リンクナーズ育成 第一期生5名
- 4 山口大学 石原教授に講演いただきました
荒木脳神経外科病院 オープンカンファレンスを開催しました
- 5 近隣医療機関のご紹介 — (しんや眼科) —

光臨会関連事業部のご紹介

デイサービス あらき

介護保険の認定を受けている方を対象とした通所介護サービスです。一日の流れとして、午前 2 回・午後 1 回、30 分程度の体操があり、合間の時間にマシン運動や療法士等との機能訓練（対象の方）に取り組んで頂いています。

入浴希望の方には入浴サービスも行っており、2023 年 6 月の移転に伴い、浴室を 3ヶ所設け、ウルトラファインバブルの超微細な気泡によるシャワータイプの機械浴もご用意しております。

プログラム活動では、カラオケやレクリエーションが人気で、職員の仮装や職員とご利用者のデュエットが盛り上がり、フロアにはご利用者の笑顔が溢れています。

体験利用も随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

対象：要支援 1、2 / 要介護 1～5 の認定を受けている方
 営業日：月曜～土曜、祝日（日曜、年末年始 12/31～1/3 はお休み）
 送迎範囲：広島市西区（西区外の区域は相談に応じます）
 電話番号：082-507-6100



荒木居宅介護支援事業所

2023 年 6 月アラキヘルスケアプラザ 1 階に移転し、介護支援専門員 5 名で、要介護または要支援状態になっても、住み慣れた地域や自宅で生活が送れるよう、介護サービスや地域の社会資源を活用しながら支援しています。主任介護支援専門員は 2 名在籍し、特定事業所加算を算定しています。

主な業務は、介護保険の説明や手続きの代行、自宅を訪問しての面接、介護サービス等の連絡調整などを行っています。また、ご入院中の患者様についても、安心して自宅に退院して頂けるよう、病院での面接や自宅訪問を行なっています。退院後の生活に対する不安や介護サービスの利用、自宅の環境調整など、介護に関する相談がありましたら、お気軽にご相談下さい。

対象：要介護認定を受け、要介護の認定を受けている方
 ※これから介護申請を行なう方も相談はお受けします。
 営業日：月曜～土曜（日曜、祝日、年末年始はお休み）
 訪問エリア：西区および中区・佐伯区の一部
 電話番号：082-507-6300



新任医師のご紹介

消化器内科 正木 英生

正木内科胃腸科医院は、昭和45年 [1970年] 4月に十日市町の旧吉貴産婦人科医院の空医院をお借りして有床診療所として発足しました。昭和50年9月に新築移転し平成4年に無床診療所として現在に至りましたが、今年 1 月末日をもって閉院致しました。閉院にあたり、多くの患者様から感謝のお言葉、花束や品々を頂き、別れを惜しんで下さいました。折しも荒木理事長先生から週に1日うちで診療してみないかとのお誘いがあり、私の引退を惜しんで下さった方々のためにも、もう少し頑張ってみようかなという気になりました。

患者様のため微力を尽くしてみたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



脳神経内科 荒木 睦子

2024年4月より勤務させて頂くことになりました荒木睦子と申します。

2002年に川崎医科大学を卒業し、脳神経内科医として大阪で8年間研鑽を積み、その後広島へもどり、2017年より県立広島病院で勤務してきました。ここ数年は研修医の指導に携わることが多く、様々な研修医に接することで教育の大変さや大切さを学ぶことができました。

脳神経内科とは、脳神経外科よりも歴史は浅いですが、脳や脊髄、神経、筋肉の病気をみる内科になります。全身を見ることでどの病気であるかを見極め、原因によっては脳神経外科、整形外科、精神科、眼科や耳鼻科と連携していくことになります。背景に膠原病や内分泌疾患、血液疾患など治療が必要な内科的疾患が見つかることも多く経験してきました。また診断がつかない病態や治療の確立していない神経難病も対象としており、そういった患者さんに寄り添っていくことも脳神経内科医の役割と考えています。

これまで総合病院でしてきたことと同じようにはいかないと思いますが、病院の環境に早く慣れて、自分のできることで病院に貢献できればと思っております。また近隣のクリニックとの連携も密にとり、地域の患者さんに最適な医療を提供できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



— 摂食支援リンクナース育成 — 第一期生5名



令和4年11月より摂食嚥下支援チームの取り組みとして、臨床で質の高い食事支援の提供を目的に摂食支援リンクナースの育成を開始致しました。

当院の摂食嚥下認定看護師佐藤理恵主任による研修会を第1回から9回まで開催し、受講後はペーパー試験と実技試験、症例発表会を行い修了しました。修了者は、リンクナースとして専門分野の知識やスキルを発揮し活躍しています。今後も専門分野と協働し、患者さんに安全な食事提供をできるようにスタッフ一同研鑽に努めてまいります。

看護部 石橋 ちづる

山口大学 石原教授に講演いただきました

去る1月26日(金) ARAKI HEALTHCARE PLAZA3階 ガレノスホールにおいて、職員を対象に山口大学脳神経外科教授 石原 秀行先生をお迎えし、「山口大学に於けるくも膜下出血術後管理」と題して、共催いただいたアイドルシアファーマシューティカルズジャパン様の資料も活用し、脳動脈瘤によるくも膜下出血のコイリング術後患者を対象とした試験結果等を踏まえた解説をして頂きました。

当院の勇人院長とは、山口大学の山岳部の先輩後輩という関係もあり、講義の途中に、石原先生が登頂された山々のご説明もあり、親しみやすく、また、講義自体も非常にわかりやすく、また、和やかな雰囲気での講義を進めて頂きました。

教育委員会 藤原 淳壮



荒木脳神経外科病院 オープンカンファレンスを開催しました

昨年、12月14日に、第7回 荒木脳神経外科病院 オープンカンファレンスをアラキヘルスケアプラザ 3階ガレノスホールで開催致しました。この度は、第一三共株式会社に共催いただき、会場とWEBのハイブリット方式で行いました。

【講演内容】

講演I 「心原性脳塞栓症について」

荒木脳神経外科病院 脳神経外科 部長 根石 拓行 医師

講演II 「西区在宅あんしん連携システム(つながるんじゃけえ)について」

石田内科 石田 哲 医師

講演III 「心房細動診療の新展開：モバイルヘルスによる無症候性心房細動への能動的アプローチ」

広島大学病院 医療安全管理部 教授 伊藤 英樹 医師

講演Iでは、当院 根石医師より脳卒中総論について、特に心原性脳塞栓症に焦点をあてて詳細に解説いただきました。

講演IIでは、石田内科 石田医師より、西区在宅あんしん連携システムを活用するメリットと、それを活用して切れ目ない医療を患者や家族と双方向で展開する重要性についてご講演賜りました。

講演IIIでは、広島大学病院 伊藤医師より心房細動の早期検出の重要性が強調されるとともに、早期発見のための手段として、Apple Watchの導入についてご講演賜りました。心房細動患者は近年増加傾向にあり、脳梗塞発症のリスクを高めるため、早期に適切な治療が望めます。しかし、患者の半数は無症状であり、発作性心房細動の1/3、持続性心房細動の2/3が自覚症状はないというデータの提示がなされました。

Apple Watchは高精度で心房細動を検出できること、長期装着可能で、非侵襲的であることから非常に有用性があります。脳梗塞予防のために今後の活用に期待が寄せられます。

この度も多数の医療機関関係者にご参加いただき、会場参加は、52名、WEB参加は28名と過去最多の参加数となりました。この会が、少しでも皆さまのお役に立てれば幸いです。

今後も、定期的にオープンカンファレンスを開催予定ですので、ご興味のある方のご参加をお待ちしております。



地域連携推進部 土肥 真由美

近隣医療機関のご紹介

しんや眼科

住 所：〒733-0035 広島県広島市西区南観音2丁目3-35

T E L：082-532-7577

F A X：082-532-7580

診療科目：眼科

院 長：新矢 誠人



院長 新矢 誠人先生

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●
14:30~18:30	●	-	●	-	●	-

*火曜日午後は手術のため休診（外来をする場合はホームページに告知）

西区南観音にありますしんや眼科の院長、新矢誠人（しんや まこと）と申します。この度このような機会を頂き嬉しく思っております。

当院は2002年に西区南観音6丁目にて新規開院し、2015年に南観音2丁目の現在地に移転しました。開院当初より日帰り白内障手術・外眼部手術を行っていましたが、長年学校保健活動に関わったせいでしょうか？徐々に小児の、特に視力に興味を持ち始め、最近では斜視・弱視や、社会的問題となりつつある近視の頻度の増大に対応すべく、学童の近視の進行抑制治療（保険外診療）に力を入れるようになりました。現在は低濃度アトロピン点眼やオルソケラトロジー（就寝時に装着するコンタクトレンズ）、多焦点コンタクトレンズで治療し、その効果を実感しています。一方では、西区は医師会の先生方の訪問診療が充実しており他科の先生からの要請も多いことから往診や在宅にも対応し（眼科ではまだ少ないようです）、地域の各年齢層をトータルに診る“街の眼科”となるよう心掛けております。

眼は脳の付属器官で互いの結びつきが深い器官です。日常の眼科診療の中で脳疾患を疑って紹介する頻度は少なくはありません。荒木脳神経外科病院におかれましては、私が診断に苦慮する症例をいつも快く引き受けて下さり本当に感謝しております。この場を借りてお礼申し上げます。

臨床とは離れますが、私は現在西区医師会の理事として医師会活動に携わっています。西区は他の区と異なり地域医療連携の中心となりうる総合病院がありません。そのため西区の複数の有床病院を中核とした“西区在宅安心ネット”を立ち上げて、相互に連携・補完するシステムを構築しています。西区医師会もこの運用に関わっていますが、荒木脳神経外科病院は、在宅安心ネットの基幹病院として西区の地域医療連携の支えとなっており大変心強く思っております。

改めて、これからも色々な場面でお世話になることと思いますが、今後共宜しくお願い申し上げます。



外観



検査室の様子

外来担当医表 〈荒木脳神経外科病院〉

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初診	渋川	中原	荒木院長	野坂	江本	広大
		初再診	荒木院長	野坂	渋川	根石	渋川	
			黒川				荒木院長	
				荒木理事長			黒川	
午後	初再診	江本	根石	広大	渋川	野坂	広大	

脳神経内科	午前	初再診		荒木睦子		青木	荒木睦子	荒木睦子
	午後	再診のみ				荒木睦子		

総合診療	午前	初再診	野村 (循環器内科)		野村 (循環器内科)			藤井 (外科:1週) 野村 (循環器内科: 2・3・4・5週)
	午後	初再診	藤井 (外科)	浅本 (消化器内科)	藤井 (外科)	浅本 (消化器内科)	藤井 (外科)	藤井 (外科:1週) 野村 (循環器内科: 2・3・4・5週)

診察時間

午前 9時～12時
(初診受付:午前 11時30分迄)
午後 3時～6時
(初診受付:午後 5時30分迄)

診察予約は
082-272-1114 (代表)
へお電話ください。

救急は 24 時間受付しております

※井上名誉教授
第 2 土曜日 月 1 回

外来担当医表 〈あらか 脳・循環器・リハビリクリニック〉

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初再診	江本		江本	江本	(本院)	江本
	午後	初再診	(本院)		江本	江本	江本	江本
けいれん外来 (小児科)	午前	再診のみ	岸	岸		岸	岸	
	午後	再診のみ	岸	岸		岸	岸	

診察時間

午前 9時30分～12時30分
(初診受付:午前 12時迄)
午後 2時30分～5時30分
(初診受付:午後 5時迄)

※内科 正木先生
毎週火曜

荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-1218
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp



ARAKI HEALTHCARE PLAZA

〒733-0821 広島市西区庚午北 1 丁目 5-15

1F デイサービス あらか

TEL 082-507-6100

1F 荒木居宅介護支援事業所

TEL 082-507-6300

2F あらか脳・循環器・リハビリクリニック

TEL 082-208-4114

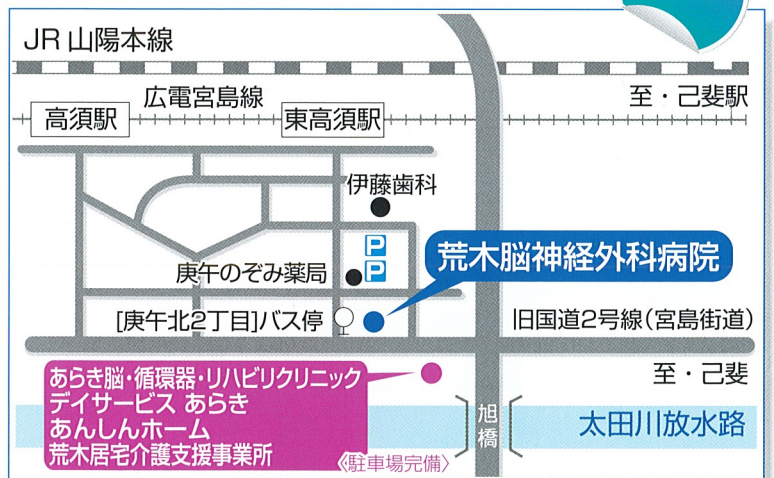
通所リハビリテーション TEL 082-208-4177

訪問リハビリテーション TEL 082-527-1123

4・5F あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

TEL 082-507-6600

案内図



- 自動車
西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)
- 広島電鉄・宮島線 / 「東高須」下車 徒歩3分
- 広島バス25号線 / 「庚午北2丁目」バス停前